

第26号

2007年7月1日  
発行

# 同推くん

発行・編集  
海蔵地区人権・同和  
教育推進協議会  
広報部  
事務局地区市民センター内  
電話 333-8770

## 2007年度のスタートにあたって

海蔵地区人権・同和教育推進協議会  
会長 川 森 一 成

海蔵地区人権・同和教育推進協議会は、充足以来16年目に入りました。この間、地区懇談会や人権を考える集い、委員研修会など毎年繰り返し開催し、「人権が尊重されるまちづくり」をめざして活動してまいりました。

しかしながら、同和問題をはじめとするいろいろな“人権問題”が解決されずに社会に根強く残っています。

そこに生まれたというだけで厳しい差別がある同和問題、セクシュアル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスや賃金格差など女性に対する差別や人権侵害も無くなりません。この世の中で一番信頼している親から受ける児童虐待のニュースも心を痛める出来事です。障がい者に対する差別もなくなりません。高齢社会が進展する中で高齢者に対する虐待などの人権侵害も増え続けています。

これらの“人権問題”に共通することは、弱い立場にある人々に対する間違っ

た優越感や偏見にもとづく心ない言動で、一部の人たちの尊厳を傷つけている問題だと言えるのではないのでしょうか。

自らの責任でないことや、自らの努力ではどうしようもないことを理由にして、差別を受けることがどんなに不当であり、厳しいことか気づき、許すことのできない不当な差別を一日も早くなくすための学習活動を積み重ね、課題解決のための実践活動に自ら取り組む努力をすることは、人間として当然のことではないのでしょうか。

今年度は、前年度に引き続き“高齢者問題”をメインテーマにして活動を進めますが、海蔵人権・同和教育推進協議会は、これからも、様々な人権課題をテーマに取り上げ、日本国憲法で保障されている基本的な人権を守るために欠くことのできない知識の提供と具現化に向けて共に学び合う機会を設けて参りたいと思います。積極的な参加と協力をお願い致します。

## 明治初年の自由民権運動

第12章 日本における民主主義の歴史 1

明治の先覚者、福沢諭吉は、明治5年から9年にかけて著した「学問のすずめ」という本のはじめに、「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず。」と書いた。民主主義の根本精神は、この一言の中によくいい表わされている。明治初年の日本人の中には、このような民主主義の本質を深くつかんだ人々があった。そうして、それらの人々が先頭に立って、民主主義の制度をうちたてようとする真剣な努力が続けられた。その努力はどれだけ実を結んだか。どうしてその日本が、近ごろになって急に民主主義とは正反対の独裁主義と軍国主義に走ってしまったのか。その歴史をしばらくふり返ってみることにしよう。

長い鎖国の夢をむさぼっていた日本のとびらをたたき、日本人に、広い世界に目をむけなければならないことを教えたのは、嘉永六年(1853年)のアメリカ合衆国の使節ペリーの来航である。この事件は、日本の開国を促す発端であったと同時に、政治のことについておおぜいの人々の意見を求めるという慣例を作るいとぐちともなった。というのは、幕府は事の重大なのに驚いて、どうすべきかについて諸侯の意見を尋ね、それが先例となつて、その後いろいろな場合に大名たちに相談するならわしになったからである。(P233)

板垣退助らは、明治7年の1月に民選議院設立建白書というものを政府に出した。(中略)この建白書が新聞に発表されると、世の中でも賛否両方の議論がたたかわされ、議会の開設を要求する声がだんだんと大きくなっていった。

このころになると、欧米の民主主義や議会制度に対する理解もすすみ、自由民権を唱え、立憲政治を主張する書物がつぎつぎに公にされるようになった。すでに加藤弘之の「立憲政体略」は明治元年に、同じく「真政大意」は明治3年に出版され、前にも述べた福沢諭吉の「学問のすずめ」のごときは、人間の自由と平等とを平易に説いた新思想の書として、数年の間に数十万冊の発行部数を重ね、自由民権の考え方をひろく国民の心に植えつけた。それと同時に、ジョン・スチュアート・ミルの「自由論」および「代議政治論」や、モンテスキューの「法の精神」や、ジャン・ジャック・ルソーの「社会契約論」など、民主主義の原理を説いた西洋の名著が、明治初年から明治10年前後にわたって翻訳され、自由民権運動の思想的基盤を築くのに役立った。(P236)

そこで板垣退助は、この運動を押しすすめるために政党を組織することを企て、明治7年の4月、郷里の土佐に帰って立志



板垣退助



文部省著作教科書 民主主義上・下

日本における

## 民主主義の歴史

第 1 回

### 連載するにあたって

戦争の焼け跡から生まれた日本国憲法が、「時代にそぐわない」とか「国民の意識の変化」あるいは「自主憲法の制定の必要」などを理由に、9条を中心に改憲を求める声が上がっています。戦後に国=文部省が学校現場において、当時の中3・高1対象に作成・配布した社会科教科書「民主主義」を今一度読みなおして、あらためて民主主義の本質的な意義を理解していただくため教科書の内容を紹介しながら考えてみることにします。

社という団体を作り、翌8年の2月には大阪で愛国社を設立した。その根本方針は、人民の自覚的な運動によって、人民の輿論を基礎とする政治を行おうとするにあった。(中略) (P237)

国会開設の目標が定まるとともに、自由民権派による政党の結成はいよいよ具体化し、その同じ月に板垣退助を総理とする「自由党」が誕生した。自由党の掲げた政綱は、「自由ヲ拡充シ権利ヲ保全シ幸福ヲ増進シ社会ノ改良ヲ図ル」こと、および、「善美ナル立憲政体ヲ確立スルコト」であって、これに加わったおもな人々には、後藤象二郎・中江篤介(兆民)・大石正己などがあつた。一方、自由党の主張が急進すぎると考え、穏健な漸進主義がよいと信じる人々は、これに対して、明治15年3月に大隈重信を総理とする「立憲改進黨」を作つた。(中略) 急進論を唱える自由党の面々は、好んでフランス革命を論じ、ルソーの説を引用したのに対して改進黨はイギリスの立憲政治を模範とし、イギリスの学説をひきあいに出して、その漸進論を基礎づけた。(中略) (P237)

これらの二つの政党は、明治初年の民主主義を代表するものであつたが、中でも自由党は、急進主義を採つたために反対も多く、総理の板垣退助は、明治15年の4月に岐阜県で、自由党を社会の秩序を乱すものと信じた一青年に襲われて負傷した。そのときかれが、「板垣死すとも自由は死せず」と叫んだという話は、七十年前の日本の自由主義者の意気を今日にまで語り伝えている。

(P238) (以下略、次号明治憲法の制定へつづく)

本文の引用記事は、文部省著作教科書「民主主義」(下)教育図書株式会社1951.7.5第3版からです。

## お知らせ

### ◆年間行事予定◇

今年度の主な行事開催予定は下記のとおりになっています。なお、開催時期については、都合により変更することがありますのでご注意ください。

また、開催にあたっては、事前にあらかじめ“ちらし”などでお知らせしますので、よろしくお願ひします。

**地区懇談会 (予定)** 各ブロック長様に確認中  
開催時刻はいずれも19時から21時まで

- 9月 7日 (金) 西阿倉川公会所
- 9月14日 (金) 海蔵南公会所
- 9月21日 (金) 野田公会所
- 9月28日 (金) 海蔵地区市民センター
- 10月 5日 (金) 三ツ谷公会所
- 10月19日 (金) 阿倉川新町集会所

**人権を考える集い (予定)**

10月27日 (土) 午後 開催場所未定  
※開催場所は企画内容により決定します。

### ◆「裁判員制度」について共に学びませんか◇

国民が裁判員として刑事裁判に参加し裁判官と一緒に評定や量刑を決める「裁判員制度」がスタートするまでいよいよ2年を切りました。

「裁判員制度」を理解していただくための啓発資料DVD「裁判員制度～もしもあなたが選ばれたら～」が海蔵地区市民センターに配布され、貸し出しをしています。

裁判員は、選挙権を持つ成人を対象にくじで選ばれますので、あなたも選ばれるかも知れません。グループや家族で視聴してスタートに備えられてはいかがでしょうか。

※グループで学習される場合には、ご要望により、学習の支援をさせていただきますので、事前にご相談下さい。

### 事業部推進委員の交代について

2007年度の若生会代表事業部推進委員のうち、相馬一美様は、古原孝夫様にお代わりになりましたのでお知らせします。

### ◎今年度もよろしく◎

このメンバーでがんばります。

- 会 長 川 森 一 成
- 副会長 藤 岡 満
- 副会長 溝 脇 勝 義
- 書 記 今 村 まき江
- 会 計 高 阪 律 子
- 事業部長 近 藤 好 仁
- 啓発部長 児 島 均
- 広報部長 藤 岡 満 (兼務)
- 会計監査 位 田 昭 夫
- 会計監査 堀 部 美代子

### ◆ 原稿募集 ◇

今年度は、できれば隔月ぐらゐに発行したいと考えています。皆様からの投稿をお待ちしています。原稿は、地域団体事務局までお届け下さい。(広報部)